

## 第2類医薬品

この添付文書は必要な時に読めるように大切に保管し、服用の際には必ずお読みください。

## 漢方製剤



## JPS 漢方顆粒-33号

桃核承気湯は比較的体力があり、のぼせて便秘しがちな方の生理不順や生理痛、生理時や産後の精神不安、高血圧に伴う頭痛・肩こりなどを改善します。血液の流れを良くし、ホルモンのバランスをととのえる働きがあります。

本剤は漢方処方である桃核承気湯の生薬を抽出し、乾燥エキスとした後、服用しやすい顆粒剤としました。



## 使用上の注意



## してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください  
他の瀉下薬(下剤)
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください



## 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
  - (1)医師の治療を受けている人。
  - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3)体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
  - (4)胃腸が弱く下痢しやすい人。
  - (5)高齢者。
  - (6)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (7)次の症状のある人。  
むくみ
- (8)次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、 脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
下痢
4. 1ヵ月位(便秘に服用する場合には5～6日間)服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
6. 本剤の服用により、予期しない出血があらわれた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 〔効能・効果〕

体力中等度以上で、のぼせて便秘しがちなものの次の諸症：月経不順、月経困難症、月経痛、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状（頭痛、めまい、肩こり）、痔疾、打撲症

## 〔用法・用量〕

次の量を食前又は食間に水又はお湯にて服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15 才以上）	1 包	3 回
7 才以上 15 才未満	2 / 3 包	
4 才以上 7 才未満	1 / 2 包	
4 才未満	服用しないこと	

### 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 食間とは食後 2～3 時間を指します。

## 〔成分・分量〕

3包(6.0g)中

桃核承気湯エキス(4 / 5量)1.92gを含有しています。

日局ト ウ ニ ン …… 4.0 g	日局ケ イ ヒ …… 3.2 g
日局ダ イ オ ウ …… 2.4 g	日局硫酸ナトリウム十水塩
日局カ ン ゴ ウ …… 1.2 g	…………… 1.6 g

上記生薬量に相当します

添加物として、ステアリン酸Mg、シヨ糖脂肪酸エステル、乳糖水和物を含有しています。

## 〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 本剤は吸湿しやすいので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返してテープ等で封をし、なるべく1日以内に服用してください。(開封状態で置いておくと顆粒が変色することがあります。変色した場合は、服用しないでください。)
- (5) 本剤は生薬(薬用の草根木皮等)を原料として使用していますので、製品により色調等が異なることがありますが、効能・効果には変わりありません。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店  
あるいは下記にお願いいたします。

ジェービーエス製薬 お客様相談室

電 話 045-593-2136

受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

[http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)

電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



ジェービーエス製薬株式会社

製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1

発 売 元 横浜市都筑区東山田4-42-22